

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 墨江幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

・本年度の幼稚園の自己評価結果について、運営に関する計画の取組内容・保護者アンケート結果においては、全ての項目で「そう思う」「ややそう思う」が90%と高評価であり、肯定的な回答が目標を大きく上回っている。よって年度目標達成に向けた取組の進捗状況および年度目標の達成状況は妥当である。

自園の現状と課題を踏まえた保育内容や環境の工夫、丁寧な指導、保護者啓発など、丁寧な園運営が伺える。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安心・安全な教育の推進】

基本的な方向1（安全・安心な教育環境の実現）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向2（豊かな心の育成）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切に、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。

- ・危険な場所を知らせる掲示や保育の中での石拾いなど、子どもの安全意識が高まるように工夫されている。
- ・避難訓練に抱っこ紐を活用していると知り、子どもの実態や実際に災害が起きたことを想定しての取組に感心した。安心して園に通わせられる。
- ・異年齢交流を通して、5歳児への憧れや4歳児への思いやりなど、心が成長していると感じる。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向3（幼児教育の推進と質の向上）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向4（誰一人取り残さない学力の向上）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

基本的な方向5（健やかな体の育成）

○令和6年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

- ・普段から保護者と教職員で十分会話ができており、幼稚園の取組が伝わっている。
- ・保健面の取組が素晴らしいと思う。家庭ではなかなか徹底できない分野なので、園で教えてもらおうと保護者としても助かる。保護者啓発にもなっている。

年度目標：【**学びを支える教育環境の充実**】

基本的な方向 6（教育DXの推進）

○令和 6 年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を 85%以上にする。

基本的な方向 7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和 6 年度の年間年間年休取得率を令和 5 年度より、増やす。

基本的な方向 8（生涯学習の支援）

○令和 6 年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を 85%以上にする。

基本的な方向 9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

○令和 6 年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を 85%以上にする。

- ・保護者と子どもが 1 冊ずつ絵本を借りられることは、子どもと一緒に絵本を選んで良いと思う。紙媒体から正しく情報を読み取るスキルを身に付けるためにも、幼稚園、小学校、住吉図書館で多くの絵本に触れる読書の取組は大切である。
- ・小学校に加えて中学校とも交流していることは素晴らしい。コミュニケーション力を養う意味でも大切な活動だと考える。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・幼稚園の取組は多様でとても良いと思う。現状で満足するのではなく、子どもの実態に応じて日々対応を考えていっているところが素晴らしい。
- ・今後も今までの教育内容を継続し、小規模園の特色を活かした、一人一人の実態に応じた教育を推進してほしい。